

「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準」改定講習会 (追加講習会)

主催— 一般社団法人 日本建築学会 材料施工委員会 鉄骨工事運営委員会 鉄骨超音波検査小委員会

後援 (予定)— 日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築構造設計事務所協会連合会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築センター、公共建築協会、全国建設業協会、東京都建築士事務所協会、東京建築士会、日本鋼構造協会、全国鐵構工業協会、鉄骨建設業協会、日本鉄鋼連盟、日本鉄鋼協会、日本非破壊検査協会、全国鉄筋工事業協会、CIW 検査業協会

主旨— 日本建築学会『鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説』(UT 規準) は、1973 年に刊行以来、今日まで 45 年間にわたり、日本で建設される鋼構造建築物の溶接部の非破壊検査に広く利用されている。現行の UT 規準は 2008 年に刊行されたが、その後の調査・研究によって蓄積された新たな技術的知見や関連 JIS 規格等の改定を反映させるために、今回の改定を行った。

主な改定内容は、以下のとおりである。

- ① 最新の関連 JIS 規格である JIS Z 3060:2015 「鋼溶接部の超音波探傷試験方法」との整合を図った。
- ② 7 章「合否判定」の「7.2.1 疲労を考慮しない溶接部」に、詳細な補足「溶接欠陥位置の影響」を加えた。
- ③ 第 4 次改定版にて新たに設けられた付則 2 「固形エンドタブを用いた梁端フランジ溶接始終端部の超音波探傷検査方法」において、一般的な探傷方法でも同付則を適用できるように、本改定版では合否判定方法・基準を改めた。

鋼構造建築物の設計・製作・施工・検査に携わる関係者各位は多数ご参加くださいますようお願いいたします。

※本講習会は、2018 年 12 月 14 日に実施のものと同じ内容です。

参加費 (テキスト代含む)

- (1) 日本建築学会会員 9,000 円 (2) 後援団体会員 11,000 円 (3) 上記以外 14,000 円

テキスト

『鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説』(第 6 版)、B5 判、約 170 頁

申込み方法*

会場によって申込方法が異なりますのでご注意ください。お電話での申し込みは受け付けておりません。

①参加申込書 (郵送) による申込み

各開催地指定の方法にて参加費をお支払いのうえ、必要事項を明記した参加申込書 (次頁) と参加券送付用封筒 (82 円切手貼付、宛名記入) を同封し、お申し込みください。

②WEB からの申込み

・日本建築学会ホームページ「催し物・公募一覧」からお申し込みください (参加申込書と参加券送付用封筒の郵送は不要)。 <http://www.aij.or.jp/>

開催地	期 日	会 場	定員	申込方法*	申 込 先	参加費支払い方法
東 京	2019 年 1 月 31 日 (木)	建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)	220 名	①	日本建築学会 「鋼構造超音波規準」改定講習会係 〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20 TEL : 03-3456-2057	○銀行振込 ・三菱 UFJ 銀行京橋支店 普通預金口座 2318455 シヤ) ニホンケンチクガツカイ ○現金書留 ○クレジットカード決済 ※領収書は原則、カード会社発行の「利用明細書」をもって代えさせていただきますが、必要な方には当日、休憩時間に受付でお渡ししますので、お申し出ください。
				②	http://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=615704	

プログラム

時 間	13:30~14:00	14:00~14:50	休 憩	15:00~15:40	15:40~16:30
内 容	主旨説明 第 1 章：総則	第 2 章：探傷装置および付属品 第 3 章：探傷の準備 第 4 章：斜角探傷法 第 5 章：垂直探傷法		第 6 章：欠陥の評価 第 7 章：合否の判定 第 8 章：記 録	付則 1 付則 2 付録
東 京 1/31 (木)	原田幸博 (千葉大学)	笠原基弘 (アクトエイションハート)		原田幸博 (前掲)	古舘 岳実 (ジャスト)

※東京会場の司会は三村麻里 (竹中工務店) が行います。講師・時間割は都合により変更となる場合がございます。

講習会参加申込書

講習会名・会場	講習会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準」 (追加講習会)			東京会場
参加者 *1	フリガナ		会員番号	
	氏名			
会員区分 *4	<input type="checkbox"/> 日本建築学会会員 (個人会員/法人会員・賛助会員 *2) <input type="checkbox"/> 後援団体会員 (団体名・No.等) <input type="checkbox"/> 上記以外			
勤務先名 *3		所属部署		
住所	(自宅・勤務先) どちらかに○をしてください。 〒			
電話		FAX		
E-mail				
参加費	円 (支払方法は、会場によって異なりますのでご注意ください)			
支払方法・ 申込方法 *4,6	<input type="checkbox"/> 銀行振込： 指定口座に入金のうえ、本申込書 (振込銀行欄記入または振込明細書コピー貼付) と参加券送付用封筒 (82 円切手貼付、宛名記入) を同封し、お申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。			
	<input type="checkbox"/> 現金書留： 本申込書と参加券送付用封筒 (82 円切手貼付、宛名記入) を同封し、参加費を添えてお申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。			
振込元銀行 (右欄記入の代わり に、振込明細書 コピーを貼付いた だいても結構 です)	銀行名・支店名	銀行	支店	
	振込依頼人 (社) 名			
	振込日	年	月	日
	振込金額	円 (他と合算送金の場合は、通信欄へ内訳をご記入ください)		
関連催し物のご案内	<input type="checkbox"/> 今後、関連する講習会等催し物の案内を希望しない。 (今後、関連する講習会等催し物のご案内をお送りします。希望されない方は□に✓を記入してください)			

*1：同一組織での複数名によるお申し込みの際は、参加者全員の①氏名 (フリガナ)、②会員番号、③会員区分を通信欄にご記入いただければ、申込書は1枚で結構です。

*2：法人会員・賛助会員は、1口につき5名を会員扱いとします。(必ず会員番号をご記入ください)

*3：領収書の宛名は勤務先名とさせていただきます。ほかにも宛名の指定がある場合は通信欄にご記入ください。

*4：該当区分の□に✓を記入してください。

*5：他会場・他講習会への参加の振り替えはできません。

*6：参加費の払い戻しはいたしません。なお、振込手数料は申込者にてご負担ください。

通信欄